

見ながら、ケースワーカーの負担の軽減や実施体制の充実についてさらに考えていきたい。

■保育体制の充実

ー平成21年4月の保育士配置基準数943に対し、正規保育士は566名、臨時保育士が283名、パート保育士が延べ298名の体制で保育に当たっているー

委員 正規職員が半分しか配置されていない現場で、保育を行うことが子どもたちにいいことだとは思えない。何が起ころうとも不思議ではない現状に対して、正規保育士の比率を上げていく政策があるべきではないのか。

市 チームで保育に当たっているが、正規職員が責任を持って対応することが重要だと思う。障害児保育が増えて、そこには臨時保育士を充てていることもあり、一気に改善することは難しいが、毎年国基準は満たすようというところで採用を行っている。ただ、従前から岡山市基

人の成長にとって重要な乳幼児期



準という形で加配を行ってきており、保育体制の充実はとても重要だと認識している。

委員 乳幼児期は人格形成や人との信頼関係の形成など、人の成長にとって大変重要な時期である。保育士が途中で次々に変わるという状況は、決してよくないことで、問題意識を持っておいてほしい。また、臨時保育士やパート保育士のほかにも、任期付職員の採用という手法も検討してほしい。

環境消防水道委員会

平成21年度岡山市一般会計補正予算（第5号）ほか3件の議案が付託され、いずれも全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定した。

■住民が安心して暮らせる不法投棄対策システムの構築を

委員 北区下足守地区の不法投棄現場の汚染地下水を浄化するということが、環境保全措置ができていても不法投棄された廃棄物の全量撤去ができない。不法投棄対策について、国に対して、現行法でいいのかと問題提起していくとともに、常に住民の立場に立った、住民が安心して暮らせるシステムを構築してほしい。

市 市として何をすべきかを検討し国に働き掛けたり、監視体制の強化や積立金制度、保険の導入など出口対策とともに、人口対策にも目を向け、安心安全なシステムをつくっていきたい。

経済委員会

字の区域・名称の変更ほか4件の議案が付託され、いずれも全会一致で原案のとおり可決並びに同意すべきものと決定した。

建設委員会

岡山市下水道事業の設置等に関する条例の制定ほか48件の議案が付託され、いずれも全会一致で原案のとおり可決並びに同意すべきものと決定した。

市民文教委員会

岡山市区づくり推進事業審査会設置条例の制定ほか12件の議案が付託され、いずれも全会一致で原案のとおり可決並びに同意すべきものと決定した。



次回定例市議会のお知らせ

2月定例市議会

- 《2月22日》本会議（議案－提案説明）
- 《3月1日～4日》本会議（代表質問）
- 《3月4日～10日》本会議（個人質問）
- 《3月12・15日》常任委員会
- 《3月19日》本会議最終日

編集後記

新しい年を迎え、はや1カ月がたちました。暖冬とは言うものの、吹く風は冷たく、立春とは名のみの寒さが続いております。さて、11月定例市議会では、各区の特色を活かしたまちづくりなど市政の重要課題について活発な論戦を繰り広げました。市議会だより冬号（No.58）では、その内容を中心に、読みやすい紙面づくりに努めました。ご一読いただければ幸いです。